

第72回
(2021年度)
定時株主総会

2022年6月24日

 **東洋合成工業株式会社**

- 世界経済： コロナ持続、経済活動再開、物流混乱、
ウクライナ情勢、原燃料高騰、インフレ、米国利上げ
- 日本経済： コロナ持続、景気持ち直し、円安、インフレ
- 電子材料市場： 先端半導体向けを中心に需要拡大
メモリ・ディスプレイも強い需要が継続
- 香料市場： 需要は安定、原料高騰、SC混乱

事業の成果

感光材

先端半導体向け
販売好調
ディスプレイ向け
販売堅調

高純度溶剤

電子材料向け
販売好調
原料価格高騰
分の価格反映

香料

トイレタリー製品
販売堅調
原料価格高騰
分の価格反映

ケミカル タンクターミナル

需要急増
経済回復
海外物流混乱

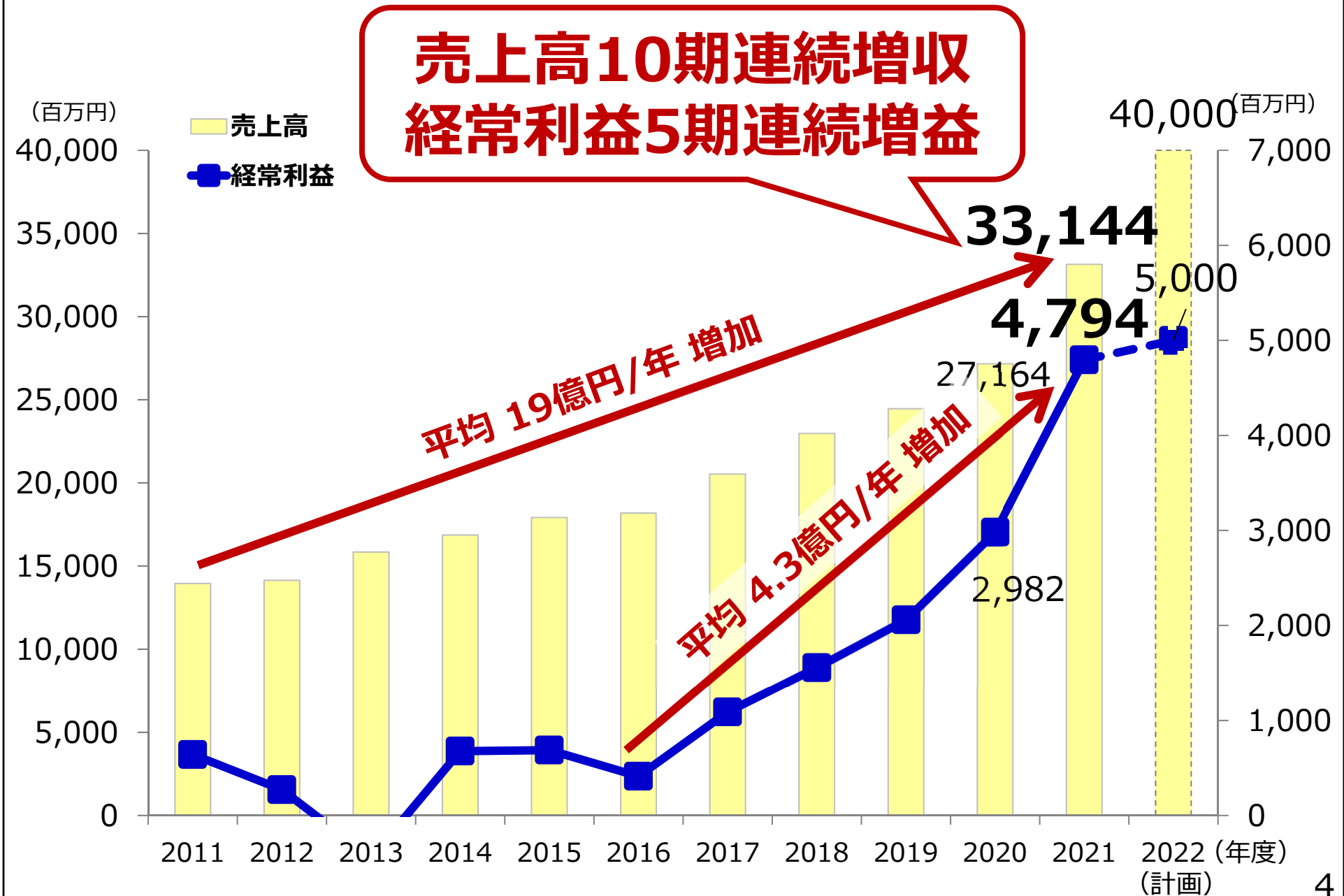
損益計算書

12、16、33ページ  東洋合成

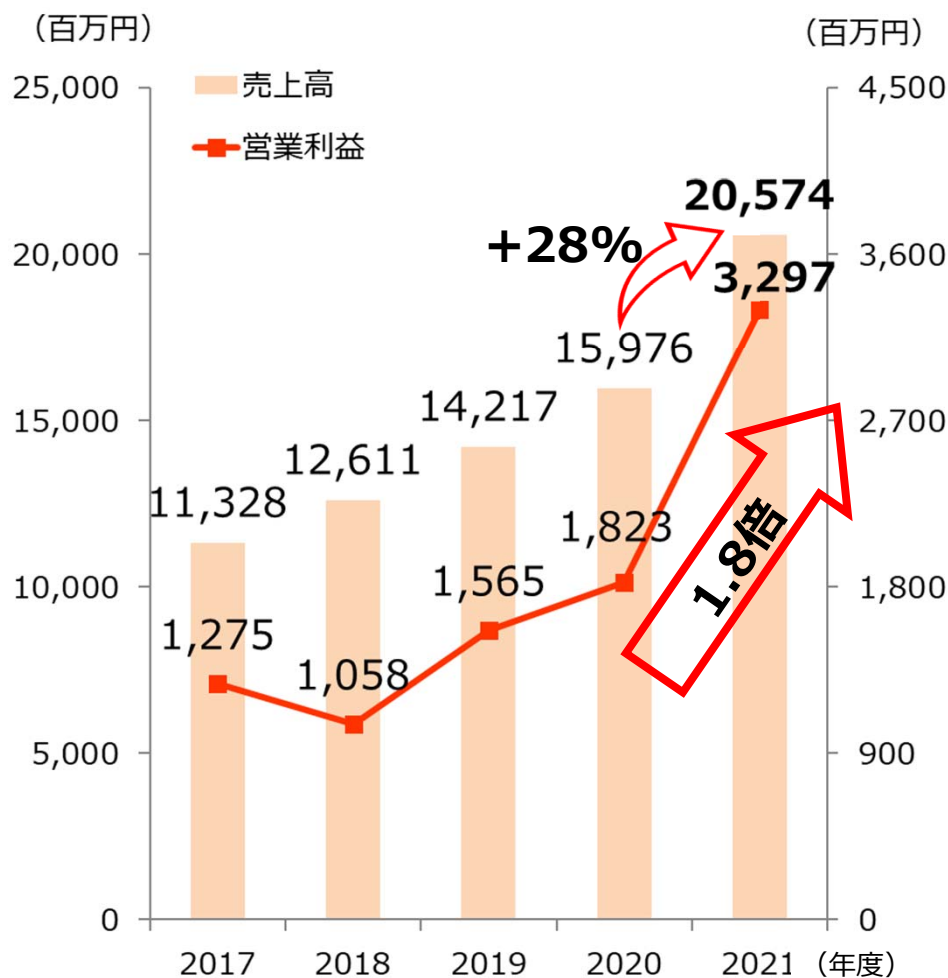
- 売上高、利益面、全て過去最高を更新し、高成長が継続。

(百万円)	2020年度	2021年度	前年度比	
			増加額	増加率
売上高	27,164	33,144	+5,980	+22%
売上総利益	6,209	8,390	+2,180	+35%
営業利益	2,939	4,624	+1,684	+57%
経常利益	2,982	4,794	+1,811	+60%
当期純利益	2,345	3,457	+1,111	+47%
期中平均為替レート	¥105.8/\$	¥112.6/\$		

売上高・経常利益の推移



売上高・営業利益



売上高：20,574百万円

(前期比+4,597百万円※、+28%※)

- ロジック半導体用途は強い需要が継続 (先端品急増)
- メモリ用途は堅調に推移
- 汎用半導体・ディスプレイ用途も強い需要が継続

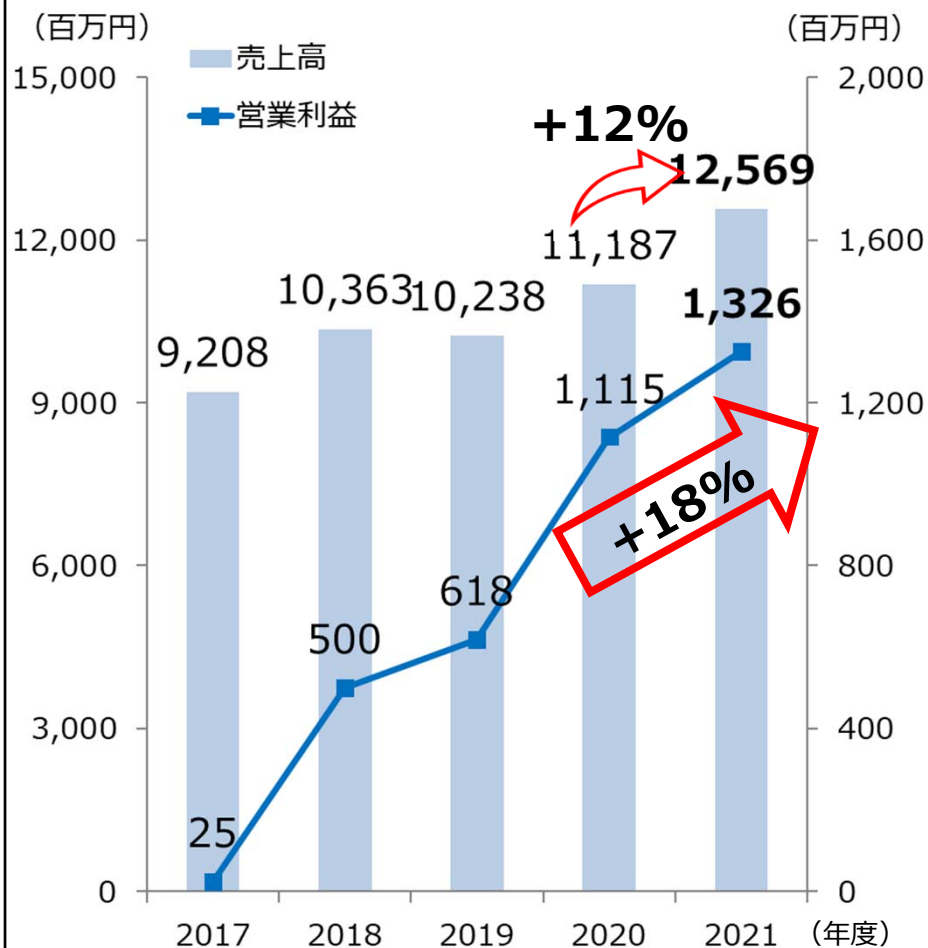
営業利益：3,297百万円

(同+1,473百万円、+80%)

- 全ての領域での増産により約12億円の費用増を吸収し、増益

※収益認識会計基準等の適用により、従来の方法に比べ、売上高は458百万円の減少。前期比に関しては、新基準と旧基準を比較した参考数値となります。

売上高・営業利益



売上高：12,569百万円

(前期比+1,382百万円※、+12%※)

- 電子材料向け高純度溶剤は需要拡大
- 香料材料は堅調に推移
- 化学品タンクターミナルは、化学品需要の回復と供給難を背景に在庫ニーズが高まり、荷動き増加

営業利益：1,326百万円

(同+210百万円、+18%)

- 原燃料高騰分の価格反映と物流の混乱を克服し増益

※収益認識会計基準等の適用により、従来の方法に比べ、売上高は658百万円の減少。前期比に関しては、新基準と旧基準を比較した参考数値となります。

貸借対照表

- 棚卸資産は、戦略的な原材料の安定確保により1,096百万円の増加
- 自己資本比率は前期末29.4%から当期末34.3%へ+4.9pt改善

	2020年度末	2021年度末	
流動資産	16,998	19,766	2,768
現金預金	3,794	3,681	△113
売上債権	5,386	7,402	2,015
棚卸資産	6,983	8,080	1,096
その他	833	602	△230
固定資産	26,520	27,119	599
有形固定資産	24,908	25,376	468
無形固定資産	523	511	△11
投資・その他	1,088	1,231	143
資産合計	43,518	46,886	3,367
負債	30,727	30,824	96
仕入債務	3,470	5,010	1,540
有利子負債	19,987	17,819	△2,168
その他	7,269	7,993	+724
純資産	12,790	16,061	3,270
株主資本	12,750	16,007	3,256
負債・純資産合計	43,518	46,886	3,367

売上増により増加

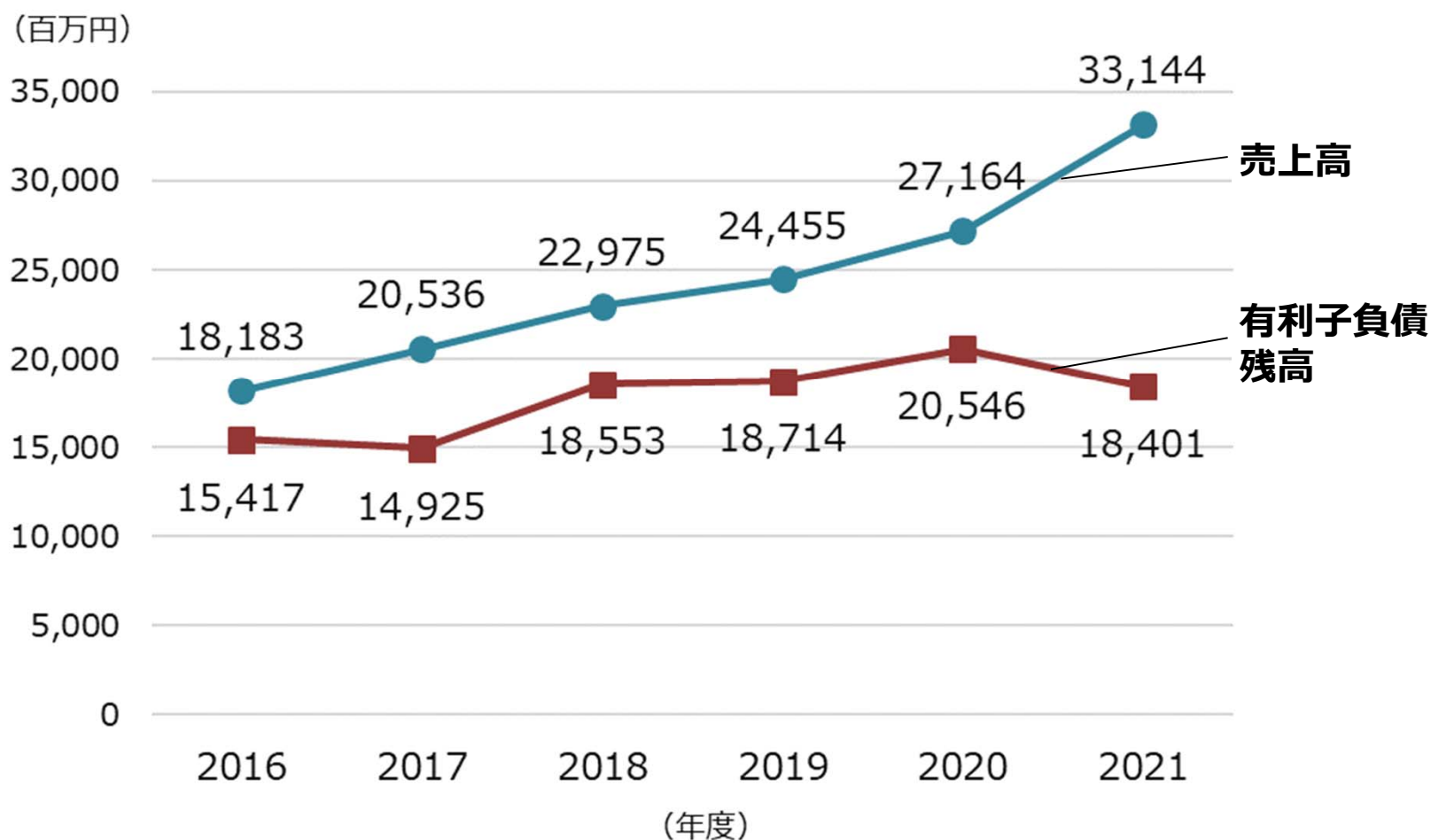
返済が進捗

純利益の増加

売上高と有利子負債の推移

- 需要拡大により、積極的な設備投資を継続しつつ、売上を拡大
- 利益の創出により、有利子負債は2018年度以降、同水準を維持

売上高・有利子負債の推移



- 過去5年間の当社株価は、662円→10,930円へと16.5倍上昇
(2017.4.1~2022.3.31)
- 株主総利回りは1,664%と、配当込みTOPIX144%を大きく超過

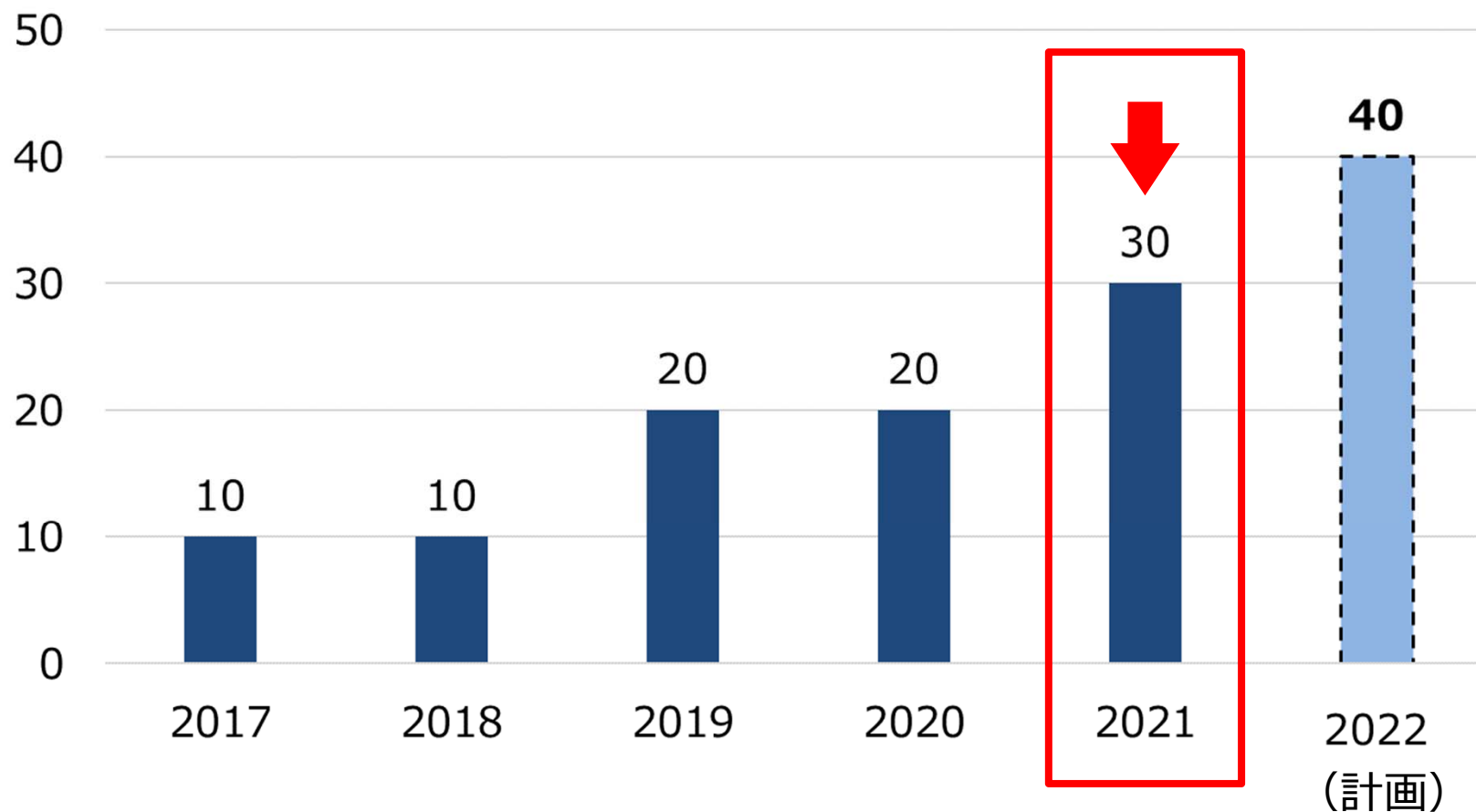
4970 東洋合成工業 株価チャート

2017年3月~2022年3月



- 株主還元・成長投資・財務バランス等を総合的に勘案し決定
- 当期は1株当たり年間30円へ10円増配

1株当たり配当金額



TGC300の総括

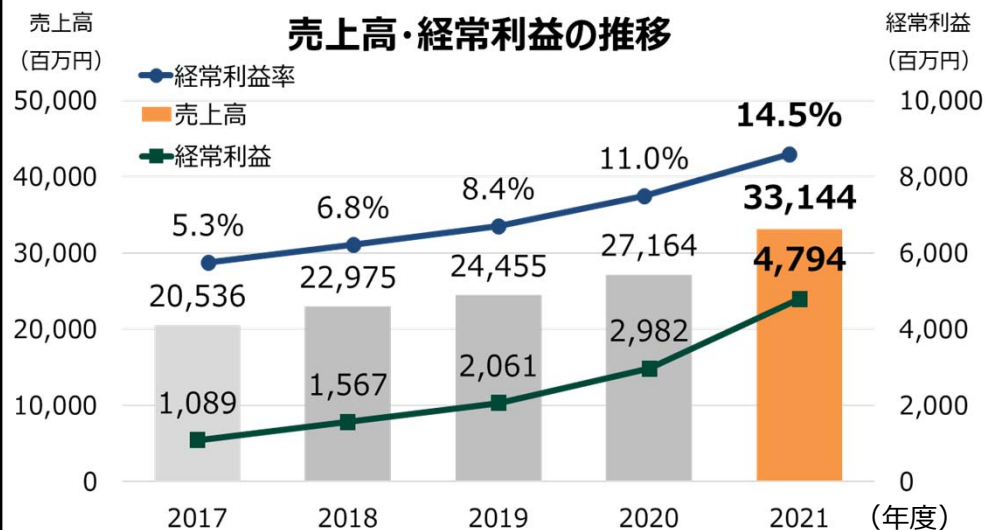
2019年3月期～2023年3月期 中期経営計画「TGC300」

ビジョン 顧客課題、技術課題一つ一つを真摯に捉え、独創的な視点で解決し、
超高品質・生産性で世界 No.1 ダントツ企業となる。

目標 **売上高300億円以上、経常利益30億円以上、経常利益率10%以上**

**売上高 331 億円（計画比+10%）、経常利益 47.9 億円（同1.6倍）、
経常利益率14.5%（同+4.5pt）**

⇒1年前倒しで超過達成。D/Eレシオも1.1に改善。



施策進捗

**感光材の
生産能力拡大**

新製造棟建設により、生産能力を拡大。

**化成品の
事業強化**

新蒸留塔増設により、超高純度溶剤の生産能力を拡大。
化学品タンクターミナルのDX推進

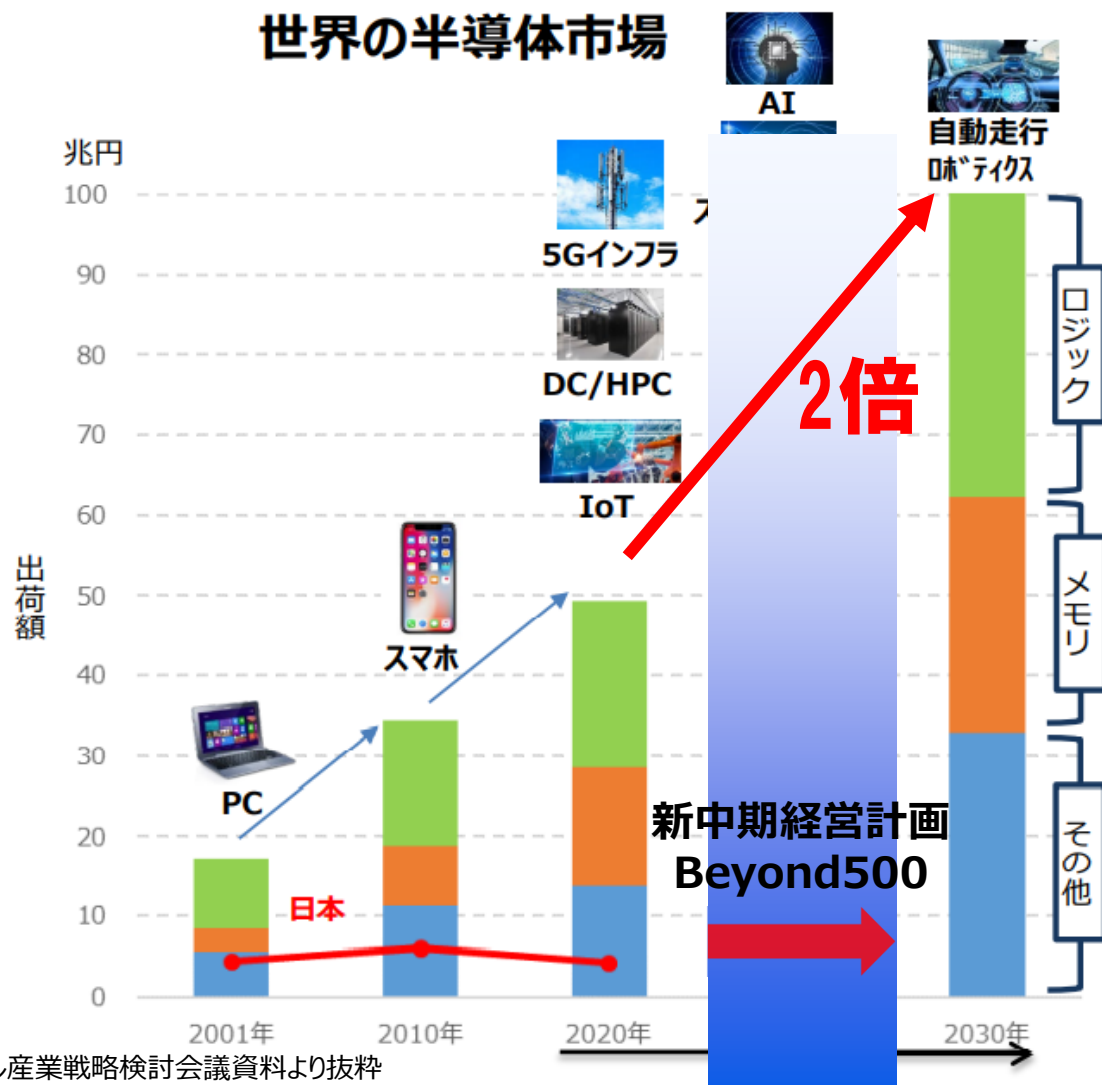
全社戦略

人材育成・技術戦略強化は、道半ば。
市場再編に伴いガバナンス体制を強化。

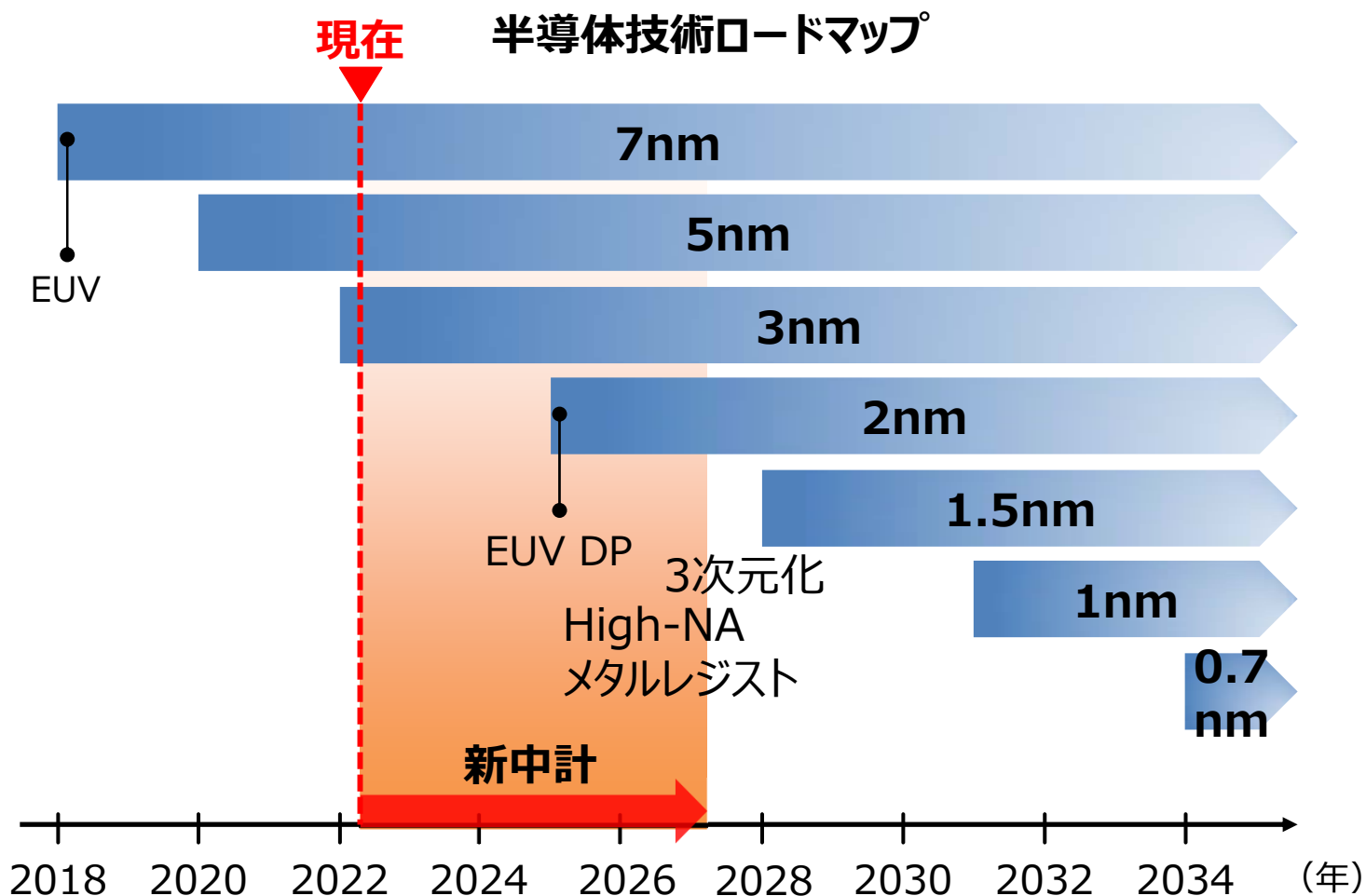
招集ご通知 14-16ページ

対処すべき課題

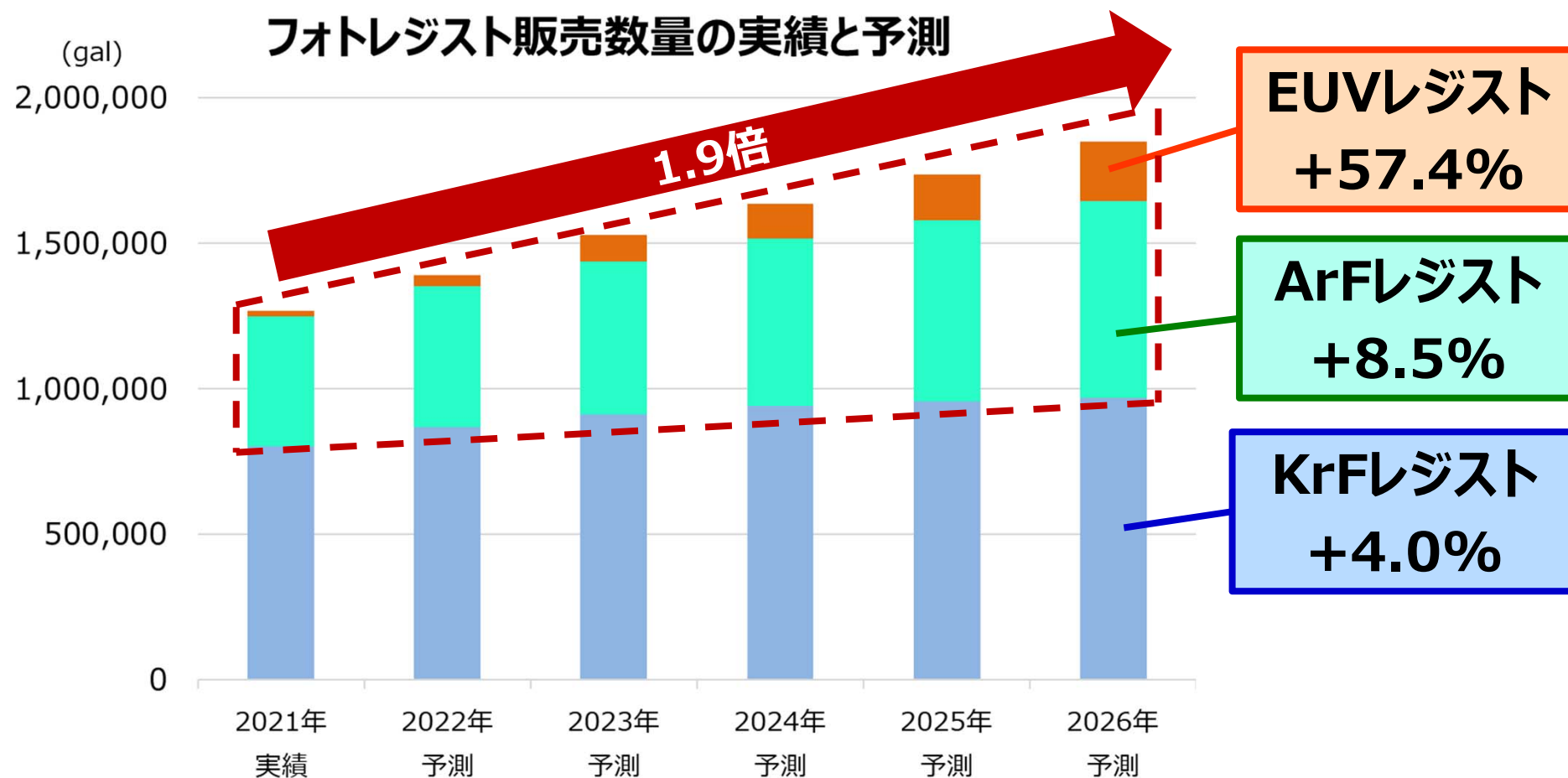
- 社会インフラのデジタル化に伴い、半導体市場は2020年→2030年で倍増の見込み。その後も継続成長。



- 当社で70年間培った溶剤/感光材製造技術に磨きをかけ、今後の業界の進化を支える
(微細化の進展/次世代EUV/3次元化/メタルレジストなど)



- 全領域で成長が継続
- 特に先端レジストは（EUV、ArF）1.9倍に拡大見込み



東洋合成工、安定供給強化

東洋合成工業は、半導体の主要製造工程で、材料のフォトレジストの材料となる感光材やポリマー、高純度溶剤などを取り扱う。中

■ 25 ■

沸騰・半導体市場

素材各社の戦略

感光材は、露光波長の波長によって構造を変えなければならない。同社は半導体製造初期に用いられた波長436

進歩に対応

世界シェア50%の感光材

ナノ（ナノ）は10億分の1の（ナノ）のスケール線を示すC線から現在の同線（EUV）向けまで、業界の進歩に対応する感光材を絶えず生み出してきた。高い性能・品質要求に応えるため、同社は高いシェアを保持している。

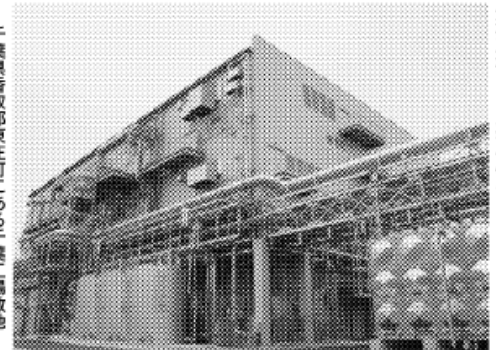
東洋合成工業は、電

子材料および半導体需要の拡大を見据えて2017年度から生産能力の増強を段階的に進めてきた。19年3月期から5カ年の中期経営計画では120億を戦

目標1年前倒し

実際の21年度第1四半期決算（4-6月）の売上高は83億円増え、営業利益は前年同期比約96%増の14億円と好調。中経

不良率10億分の1で品質管理



千葉県香取郡東庄町にある千葉工場敷地内に新設した感光材新工場「第4感光材工場」（東洋合成工業提供）

上高300億円（21年3月期271億円）の目標を1年前倒している。今後、20年10月に竣工した第4感光材工場による売上原

有機材料供給も半導体の微細化に伴う製品の品質向上に必要だ。例えば、30年前であれば製品の不良率が100万個当たり1個以下にする（100万分の1）だった品質管理基準は、現在1ヶ台の（10億分の1）での精密な管理が必要だ。こうした品質要求はレジスト材料に限らず、多層レジストプロセスにおける感光材の下地材などについても言える。そのため、「培ってきた高い合成・重合技術で、新しく求められる有機材料の供給も目指す」（平澤取締役）と、さらなる展開に意欲を示す。（火・木曜日掲載）

当社の強み

- 半導体黎明期からの量産実績
- 需要拡大期を捉えた設備投資
- 世界シェア50~70%を確立

世界の進化を支える日本企業に選定

グローバルN0.1シェアの独自性の高い製品・サービスを開発する企業として、経済産業省認定「2020年版グローバルニッチトップ企業（素材・化学部門）」に選定。



申請・お問合せ English サイトマップ 本文へ 文字サイズ変更 小 中 大 アクセシビリティ 閲覧支援ツール

ニュースリリース 会見・談話 審議会・研究会 統計 政策について 経済産業省 について

ホーム ▶ ニュースリリース ▶ ニュースリリースアーカイブ ▶ 2020年度6月一覧 ▶ 2020年版「グローバルニッチトップ企業100選」を選定しました

印刷

2020年版「グローバルニッチトップ企業100選」を選定しました

2020年6月30日

▶ ものづくり/情報/流通・サービス

経済産業省は、世界市場のニッチ分野で勝ち抜いている企業や、国際情勢の変化の中でサプライチェーン上の重要性を増している部素材等の事業を有する優良な企業113社を、2020年版「グローバルニッチトップ企業100選」として選定しました。

1. 2020年版「グローバルニッチトップ企業100選」について

前回（2013年度）に実施した「グローバルニッチトップ企業100選」の後、デジタル経済の進展や世界の政治経済情勢の変動、少子高齢化のような社会構造変化など、日本企業を取り巻く事業環境は変化してきています。

こうした状況を踏まえ、新たな厳しい経済環境の中においてもニッチ分野で勝ち抜いている企業や、サプライチェーン上の重要性を増している部素材等の事業を有する企業などを、2020年版「グローバルニッチトップ企業100選」として新たに公募し、選定を行いました。



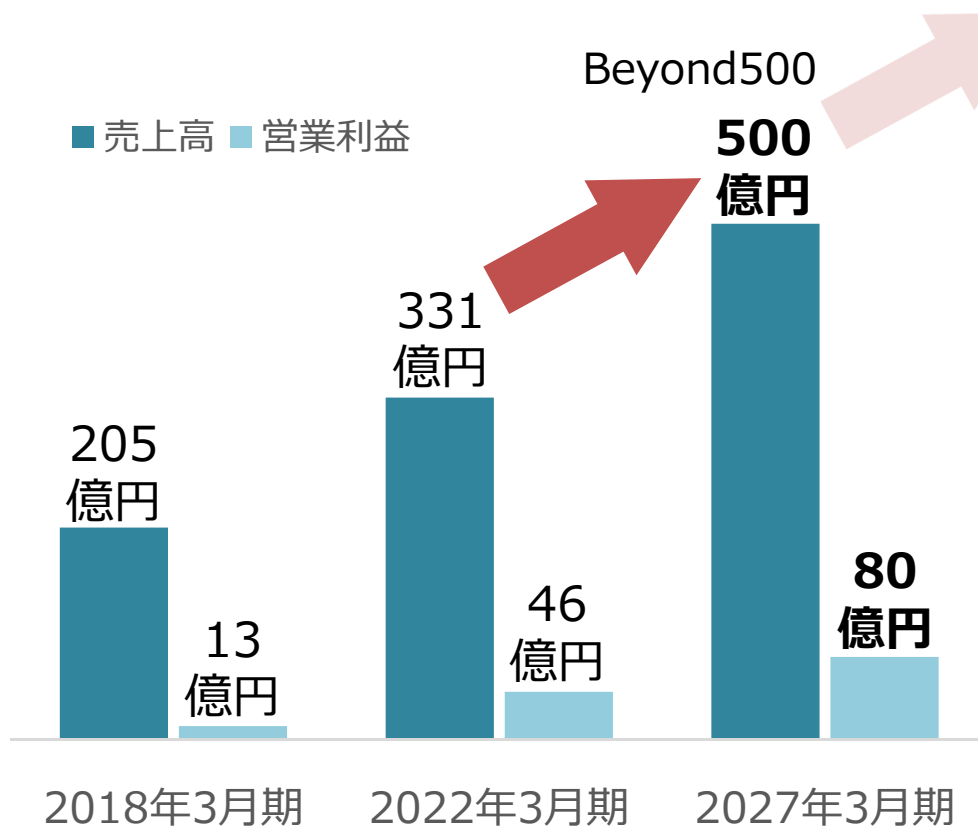
■コンセプト

今後、さらなる需要拡大が見込まれる電子材料分野において、
当社の長年培ってきた高純度合成、精製技術にさらに磨きをかけ、
顧客品質を満たす安定供給体制を強化し、人・組織・事業の
成長を果たし、世界No.1ダントツ企業として持続可能な脱炭素
社会の実現に貢献する

■中期経営計画のビジョン

顧客課題、技術課題一つ一つを真摯に捉え、独創的な視点で
解決し、世界No.1ダントツの超高品質と生産性向上の両立に
より、未来を創る。

●売上高1.5倍、利益1.7倍の5カ年計画を策定



2027年3月期計画
 売上高：500億円以上
 営業利益：80億円以上
 (16%以上)
 設備投資額：300億円
 (中期経営計画期間累計)
 ※為替前提：¥115/\$



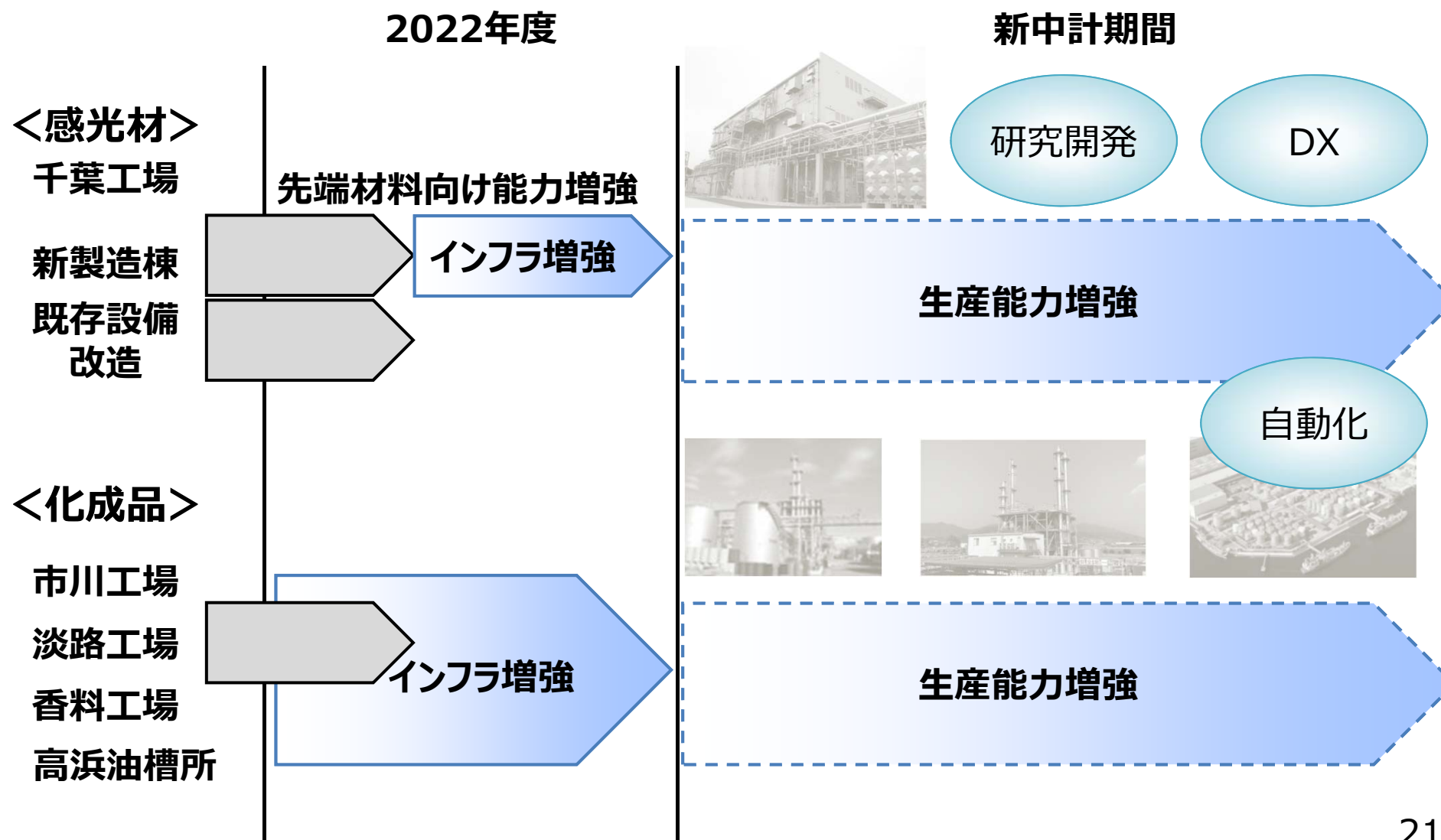
営業利益率	6.3%	14.0%	16%以上
-------	------	-------	-------

2022年3月期実績
 売上高：331億円
 営業利益：46億円 (14%)

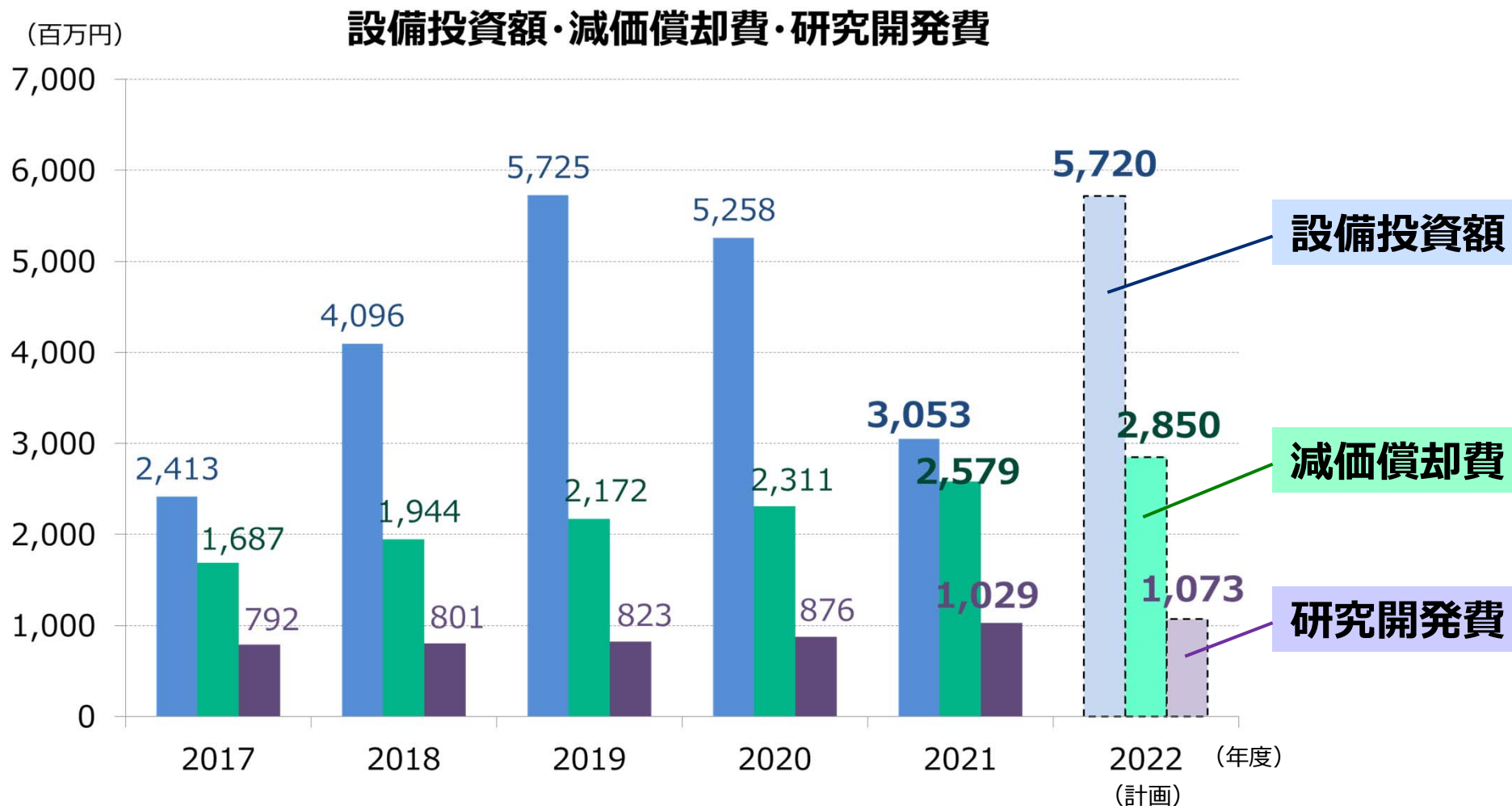
- **コロナ対策を含め安全を最優先し、
より一層の安全操業・安定供給の実現に邁進してまいります。**
- **感光材** : 拡大する需要に十分な生産能力の確保
超高純度溶剤 高品質製品の安定供給
- **香料材料** : 積極的な拡販と安定供給
- **化学品タンクターミナル** : DXや高品質な保管技術を活かした差別化
- **連続的成長を支える競争力強化**
 - 人材育成** : 育成環境への投資と次世代リーダー育成
 - 技術戦略の強化** : 顧客品質と生産性の両立、DX活用
 - 経営基盤の強化** : 財務体質強化、環境・地域貢献・多様性

各工場の生産能力増強

継続的な設備投資により、安定供給体制を構築していく



●今後も継続的に生産能力増強投資を実施



社会的責任と持続可能な社会に向けて 東洋合成

化学メーカーとして、経営理念を礎に、4つの責任を掲げ、持続的発展可能な地球環境の実現を目指し、人類文明の成長に貢献

- ✓ 化学メーカーとしての責任（安全・環境）
- ✓ 素材産業としての責任（品質・安定供給）
- ✓ 人々の未来を支える責任（研究開発・人材育成・サステナビリティ）
- ✓ すべての事業活動の基本となる責任（人材・ダイバーシティ、ガバナンス、コンプライアンス）
- ✓ これからの社会を実現する事業者責任

脱炭素の環境調和型DX社会の実現に向け、事業活動を通して課題解決に貢献。未来に向けて、ESG、SDGsを推進。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



Governance

コーポレートガバナンス強化
CGコード全原則適用で見直し実施



2021年JPX日経中小型株指数
構成銘柄に選定

ダイバーシティ
日経ウーマンオブザイヤー2022 受賞（内閣府）
感光材・ダイバーシティ担当 平澤聡美 取締役



奨学金・研究助成

- ・東庄町、千葉大学、早稲田大学、他
- ・東洋合成記念財団

地域貢献・地元のスポーツ振興を支援

- ・千葉ロッテマリーンズ
- ・鹿島アントラーズ

Social

Environment

エネルギー原単位削減
全社のエネルギー原単位 2.2pt改善
省エネ法 Sクラス（優良事業者）達成

事業継続計画・サステナビリティ調査

- ・エコバディス サステナビリティ調査 シルバー評価
- ・日本政策投資銀行 BCM格付
「防災及び事業継続への取り組みが特に優れている」と評価
- ・ISO 22301（事業継続マネジメント）取得
化学業では日本で2番目に取得



創業来、世の中のニーズに対し、技術を通して真摯に取り組み、高純度化技術・合成技術・製造技術を磨き、現在に至りました。

あらゆる機器がネットワークでつながり、データはリアルタイムに連携し、さらにAI活用が企図される昨今、電子材料は高度化/多品種化しつつ需要は急拡大し、お客様から多くのご要望を頂いております。

このような社会変革を実現すべく、安全を最優先しつつ、新中期経営計画「Beyond500」の達成と、安定供給の実現に邁進してまいります。

ご支援いただいている、株主様やステークホルダーの皆様のご期待に応えるべく、社員一丸となり企業価値向上を目指してまいります。

何卒、引き続きのご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

独創的な視点で世界へ

Individual Development, to the global Chemical

東洋合成工業株式会社

(見通しに関する注意事項)

本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。

従いまして、実際の業績は、様々な要因やリスクにより、この業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。